

# 大すきだよ

佐賀県 佐賀大学文化教育学部附属小学校二年

山口 やまぐち  
悠希 ゆうき

「ひゅるるるー、パーン。」

きよ年より小さな花火の音。ガラスの向こうに見える花火。

お空がキラキラと明るくなるはく力はなけれど、今年はお

たしのとなりにお兄ちゃんのえがおがあるの。

お兄ちゃんはダウンしようでね、とてもこわがりなの。だから、

いつもお兄ちゃんは花火大会に行けないの。きれいな花火

を見るのは大すきなのにこわくて行けないの。

だってだって、花火を見るには人がたくさんいてくらい道

をたくさん歩かないといけないでしょ。花火はきれいだけど、

大きな音も出るでしょ。だからね、歩くのがおそくて大きな音

がこわいお兄ちゃんにはね、とてもむずかしいの。

でも今年はね、お兄ちゃんみたいなたちにもきれいな花

火を見せてあげようって、おまつりの人が考えてね、全部で

100人くらい、ビルのおへ屋で花火が見られるようによう

いしてくれたの。そのおまつりの人もね、花火が大すきだった

のに、子どもところに足が不自由で行けなくて何どもあきら

めないといけない思いましたんだって。

お兄ちゃんのおかげでいろんなことをしることができた

よ。そして、人のやさしさもつたわってきてね、ほかほかする

気持ちになったよ。ありがとう。

「ひゅるるるー、パーン。」

花火もすきだけど、お兄ちゃんのえがおも大すきだよ。